

平成23年度第1回花巻市社会教育委員会議会議録

平成23年7月28日（木）

出席委員（18名）

石橋恕篤議長、市川 浜副議長、伊藤成子委員、伊藤晴二委員、伊藤達也委員、伊藤浩之委員、遠藤紀宏委員、小澤和一委員、押切 郁委員、小原昭男委員、紺野佳子委員、佐々木悦子委員、佐藤彰博委員、佐藤康雄委員、清水 潮委員、千葉 緑委員、細川泰史委員、門馬優子委員

欠席委員（2名）

菊池敦子委員、高橋カヨ子委員

説明のために出席した者

菊池保守まちづくり部長、佐藤正眞生涯学習課長、佐藤加津三地域支援室地域支援監
玉山進スポーツ振興課長、吉田伸一朗国際交流室長、及川好布就学養育課長、
中村良幸文化財課長、佐藤富次男大迫総合支所地域支援室地域支援監、
関公士石鳥谷総合支所地域支援室地域支援監、青木力三東和総合支所地域支援室支援監

午前10時00分 開会

1 開 会 佐藤生涯学習課長

2 あいさつ 菊池まちづくり部長
石橋議長

3 委員紹介 佐藤生涯学習課長

4 議 題

○佐藤正眞生涯学習課長 協議の方に入りたいと思いますが、議長から進行をお願いしたい
と思います。

○石橋恕篤議長 はじめに、お二人に一つの割合でマイクがあると思いますので、記録の関
係からマイクを使ってご発言賜りますようよろしくお願いいたします。

では、早速議題に入りたいと思います。まず花巻市生涯学習振興計画の進捗状況について、
市のほうから説明をお願いいたします。

○佐藤正眞生涯学習課長 【説明】(1)花巻市生涯学習振興計画の推進状況について

○石橋恕篤議長 進捗状況ということでお話いただきましたけども、皆さんからご意見を賜
りたいと思います。議論に先立ちまして、ひとつひとつ問題を検討するのが一番よろしいの
ですが、なかなか時間の関係でそのように参りませんので、進捗状況を一括して皆さんから
ご意見を賜りたいと思います。ご意見のある方は、できれば挙手をしていただければと思い
ます。どなたかございませんでしょうか。

どうぞ。

○紺野佳子委員 5ページの生涯学習の基礎づくりで、平成22年度外部講師の模範授業の開催、それから23年度の実施事業の中で、外部講師の模範授業がありますけども授業の内容について聞いたかったですけども、先程5教科というお話だったのですが、生涯学習課と小中学校課に関わりの教科なのか、小中学校課にお任せの5教科なのか、そのところが分かりませんでした。

○石橋恕篤議長 お願いいたします。

○佐藤正真生涯学習課長 お答えします。子どもの基礎づくりということで、当課との連携ではなく、小中学校課で企画立案しているものでございまして、5教科につきまして模範授業を行って、それを先生方が授業参観して、学んでいくと聞いております。

○石橋恕篤議長 よろしいでしょうか。

○紺野佳子委員 はい。

○石橋恕篤議長 他にご質問は。

○遠藤紀宏委員 目標設定というのが各項目にあります、例えば生涯学習の基礎づくりの1番目に27年度41%というような数値になって出されています。この目標設定の根拠はどこにあるのか説明いただきたいと思えます。

もう一つは、男女共同参画の事業のところ、例えば31番の男女参画の情報誌の発行ということで70%になっているのですが、22年度は37%と低いです。これはどういうことなのか、ご説明いただきたいと思えます。

○石橋恕篤議長 遠藤委員からのご質問でございますが、いかがでしょうか。

○佐藤正真生涯学習課長 ご質問ありました家庭学級の開催の中で、当初実績が29%で将来目標の41%はどういう根拠なのかということですが、設定当初は、この家庭教育学級は、青少年健全育成の中で、子どもの健全育成を図るためにまず親もという形で始めた事業でございます。まずは親御さんの理解を得られるということで、4割ぐらいの親御さんには、参加して頂きたいという思いがありましての設定だったように記憶してございました。

○遠藤紀宏委員 1番ばかりだけではなくて、ずっと見ますと数値が全部異なっているようですが、根拠があると思うのですが、その辺をお教えいただきたいです。

○菊池保守まちづくり部長 それでは私のほうからまとめて今の件についてお答えしたいと思います。1番から30数番までそれぞれ目標設定しておりますが、その考え方でありますが、まずはこの事業に関係する関係課の課長が集まります。そこで議論します。将来の目標設定をどうしようかということで議論します。その時の基本的な考え方なのですが、まずは現状の数字をきちっとおさえたうえで、最終的には20年の現状から見て、7年後にはどのぐらいの目標設定をしようかということで議論するわけではありますが、関係課の課長が集まって、現状を踏まえて将来の目標設定を考えます。今まさしくご指摘がありましたとおり、現状と目標がかなりかけ離れている数字がございますので、総合計画の見直しの中で、その指標を見直そうという作業をやっていましたが、大震災の影響がありまして、本当にその目標が今の経済状況あるいは震災の影響で良いのかというのが見直し最中でございます。できるだけ実現可能な目標設定をしながら、やっていくという作業途中ということでご了承くださいと存じます。

○石橋恕篤議長 今の話は関係課長が集まって、それぞれ検討しあって出した数字だけでも、新たに見直していかなければならない状況にあるというお話しでございました。それでよろしいでしょうか。

○紺野佳子委員 関連して、1ページの第1章基本構想というところから、計画の位置づけ2・3・4と3ページ5・6政策の体系があるのですが、少し疑問を感じたのは、この計画を推進する組織が、例えば小中学校課とか地域づくり課というような担当課に任されているような感じを受けました。

それから、事業を進めていく上には今のように評価もしていかなければならないわけです。そういう場合には、私としてはパーセントのほかに、基本目標のところにあるように生涯学習は個人を高める学習の一方でまちを高める学習だと書いてありますので、ぜひ数字だけではなく、市民の声とか姿が分かるような評価や反省が聞ければ、この基本計画がどのように進んでいるのか、理解できると思っております。色々ページを探したのですが、見つけれなかったので、お聞きします。

○石橋恕篤議長 どうぞ。

○菊池保守まちづくり部長 それでは私の方からお答えをさせていただきます。まずは4ページの施策の体系をご覧いただきたいと存じます。4ページの政策の方向がありまして、右側に基本施策ということであります。そこで例えば生涯学習の基礎づくりでは3つの基本施策がございます。これについてはご発言がございましたとおり複数の課にまたがっております。先程申し上げましたが、この基本施策にかかる複数の課の課長が集まりまして、そこで議論をまずします。基本は担当課がございますので、担当課ごとに事業は推進しますが、施策の評価あるいは目標設定等はここの基本政策に該当する担当課の方々が集まって議論をしながら進めているという状況であります。

それから、本当に貴重なご意見でございますが、市民の意見反映は、まさしくそのとおりでございまして、総合計画の中では市民のアンケート調査を行っております。市民3千人ほど抽出しましてアンケートをします。そのうちの約半分は定点観測ということで、総合計画の策定以来半分は同じ人を対象にずっと継続してアンケートを取って、残り半分はランダムに抽出して、いずれ3千人に対して毎年やっております、基本施策ごとにアンケートをとって評価して、それを皆さんに公表すればいいのですが、ホームページ上では公表しておりますので、それでこの基本的な施策について、今年度の評価はどうであったのかと、こういうことを踏まえながら評価をさせていただいているところであります。本日は本当に申し訳ございません。これらの生涯学習に係る市民の意向調査もあればよかったのかなということで反省をしております。

○石橋恕篤議長 今の説明でよろしかったでしょうか。

○紺野佳子委員 ありがとうございます。

○石橋恕篤議長 他にご質問がある方いらっしゃいませんか。

○押切郁委員 押切でございます。前にも質問したと思いますが、巡回美術展の廃止が残念だと思います。やはり今年度も廃止ということで、その理由はどうなのでしょう。大変素晴らしい作品が展示されますけども、それに関わる費用や或いは労力もかなりだとは思いますが、芸術文化の創造・充実のためには大事なことだと思います。

もう一つは、大変よかったと思うのは、以前風のセミナーを開催していましたが、それも廃止になりました。それは賢治記念館の事業として復活するということです。それは大賛成です。

○石橋恕篤議長 最初の質問でございますね。巡回美術展の廃止理由についてお願いいたします。

○佐藤正眞生涯学習課長 巡回美術展は労力とかそういう部分で復活できないのかということなのですが、市でも優秀な美術品を買い上げて所蔵してございますので、それを市民芸術祭の企画等に合わせて展示する機会を設けまして、そういう形で美術展につきましては、市の所蔵美術展として開催したいと思います。

○押切郁委員 分かりました。確かに去年、まなびの展示室でそういう買い上げたものの展示をいたしました。全くPRが足りなくて殆どお客さんがいませんでした。私が行った時、私一人だけで寂しいと思いました。展示があるということも、あまり市民の皆さんには知らされてなかったというのは、せっかくやっても効果がないと思いますので、やるならもっと実質的に市民に知らせる方法でやっていただきたいと思います。

○佐藤正眞生涯学習課長 去年の反省を踏まえ、ご意見を参考にいたしまして、今年はPRに努めます。せっかく広く市内の皆さんの優秀な作品が集まっておりますので、公開に向けて、しっかり情報を出していきたいと思います。

○石橋恕篤議長 よろしいですか。

○押切郁委員 はい。私は県の芸文協の理事もしております。その時に美術展がどういう町でどのくらい利用されているかという表があまして、花巻が抜けているのはとても寂しく実感していますし、負い目も持っております。毎年ではなく2～3年に一回とか開催することでもいいと思います。もっと花巻だけではなくて、広い視野で作品を鑑賞する機会を作っていただきたいと思います。

○石橋恕篤議長 労力とかそういった点もあると思いますけれども、せっかくのいいものを市民に知ってもらうためにPRも兼ねて、大いに宣伝して見ていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

他にご意見はございませんか。

○紺野佳子委員 花巻ユネスコ協会の事務局を担当しておりますが、花巻ユネスコ協会の事業を推進するうえで、生涯学習振興関係の課と教育委員会と組織と場所が違うことで、戸惑ったりしましたが、今回、生涯学習課が設けられた事で、また一歩生涯学習について進むのではないかと期待しています。

その生涯学習の中で特に持続可能な開発のための教育を日本ユネスコ協会では進めておりまして、全国的にもこれに参加する小中学校・高校・幼稚園関係も増えてきおります。岩手県でも高校生対象の研修会では大学の先生を招いて、教育についての講演会を開催するなどして進めています。これを進めるためには、文部科学省から文書が教育委員会に来ます。

私たち日本ユネスコ協会は生涯学習課のお世話になっていますが、教育委員会に行つて説明すればいいのでしょうか、生涯学習課に来てお話すればいいのでしょうか。一度教育委員会には行きましたけれども、その後学校教育関係にお話を進められているようにも聞いておりません。日本ユネスコ協会の方から県の教育委員会や知事宛に文書が来ても、花巻ではど

ちらに行くのか、それが心配な点です。生涯学習のほかにも国際理解講演会も開催していますから、小中学校課の了解もいただかなくてはなりませんので、そちらにもお願いにまいります。どちらにも担当課があるのはいいことだとは思いますが、文書がどのようなルートで流れているのかお聞きしたいと思います。

○石橋恕篤議長 今のご質問についてお願いいたします。

○佐藤正真生涯学習課長 ユネスコの担当ということでございますが生涯学習課のほうに来ていただいて結構です。必要な場合は当課から教育委員会へ連絡します。

○石橋恕篤議長 よろしいですか。

○紺野佳子委員 分かりました。毎年中学生を対象に国際理解講演会を開催しております。中央から大学の先生をお招きして講演会を開いております。学校のお世話になりますが、そういうときは、生涯学習課でしょうか。

○佐藤正真生涯学習課長 生涯学習課で結構ですが、もし個別の学校というお話になりますと、ご足労いただくこともあります。

○紺野佳子委員 分かりました。市内の学校にも日本ユネスコ協会のユネスコスクールというのがあるのですが、そのご理解をいただきたいということもあって、教育委員会にも行かなくてはとっております。

○佐藤正真生涯学習課長 紺野委員ご存知のとおり、そういう意味もございまして、社会教育委員に校長会から推薦として先生もいらしております。よろしくお願いいたします。

○紺野佳子委員 分かりました。ありがとうございました。

○石橋恕篤議長 他にご質問はございませんでしょうか。なければ、次に進ませていただいてよろしいですか。

無いようでございますので、次の生涯学習事業計画について市から説明お願いしたいと思います。

○佐藤正真生涯学習課長、及川好布就学養育課長、吉田伸一朗国際交流室長、玉山進スポーツ振興課長、中村良幸文化財課長 【説明】(2)平成23年度花巻市の生涯学習事業について

○石橋恕篤議長 それぞれのセクションから報告・説明がございましたけども、委員の皆さん、この件について質問はございませんか。

○門馬優子委員 国際交流センターが新しい場所に移転されたわけですが、今までのなはんプラザはかなり交通の便も良く、電車を使う人達も使い勝手がいい場所だったと思いますが、今度新たに移った国際交流センターは自家用車の方はもちろん大丈夫だと思いますが、お子さんですとか電車で移動される方は不便になったと思います。利用者に対する配慮などは何か考えていますか。

○石橋恕篤議長 その点についていかがでしょうか。

○吉田伸一朗国際交流室長 お答えさせていただきます。現在、先程お話ししたとおり、旧空港ターミナルで業務を行っております。なはんプラザは昨年まで交流センターということで実施しておりましたので、そちらも使えるようにした体制としております。現在のなはんプラザのスペースを使っていらっしゃる方もいるということで、そちらと合わせて実施してございますので、今のところは2つの施設を使って国際交流の関係は実施しております。

逆に現在のスペースについては、駐車場も無料でございますし、かなり自由度も高くなってございます。いわゆる施設について昔から持ってございますが、国際交流に係る事業については減免措置もございますので、使い勝手はいいのかなと思っておりますし、旧3町につきましては逆に通いやすい場所でもあると思います。先程のご指摘の通り、バス等は1時間に1本は通っていますけども、その辺は若干不便があるのかなと思いますが、なんとか利用していただきたいなというように思っております。以上でございます。

○石橋恕篤議長 よろしいですか。

○門馬優子委員 ありがとうございます。

○石橋恕篤議長 他にご質問はございませんでしょうか。

○遠藤紀宏委員 スポーツ振興事業ですが、21ページにスポーツでまちづくり構想ということで、先程課長から説明があつて分かりました。7月15日付けの広報はなまきにスポーツコンベンションビューローについての記事がありました。花巻市は、これからスポーツ市場の参入を積極的に行うという姿勢が述べられていましたが、私は文化とともに大変大切なことだと思っています。その記事の中に全国大会規模の事業が何項目か挙げられていました。それによれば天皇杯の全日本軟式野球大会や全国ゲートボール選抜大会、ハンドボール全日本学生選抜、来年は全国高等学校ハンドボールの選抜大会と書かれておりました。それらを見て感じたことは、スポーツをやることは我々の健康維持に大切なことですが、見る事も非常に大切なことだと思っております。そのために、一般の市民の方々もしくは近隣の市町、県内、もっと広く東北全体に市からこういう情報をどんどん発信する努力をしていただきたいと感じましたので、何とか配慮していただきたいなと思います。

○石橋恕篤議長 ご要望のようですけども、何かお話ございますか。

○玉山進スポーツ振興課長 ご説明させていただきます。大規模スポーツ等の情報提供という観点から、今取り組んでいるのはホームページの作成をしております、その中で今お話にがかったような大会とか新たな大きな大会やそういった部分をどんどん発信していくということで考えております。まもなくホームページが完成しますが、そのような形で皆さんに情報提供をするということで進めてございます。

○石橋恕篤議長 ありがとうございます。ホームページ等で市民に知らせていきたいということでございます。それでよろしいですか。

○遠藤紀宏委員 もう一つ質問です。そういう大きなスポーツ大会に対する予算措置は何か考えているのでしょうか。

○玉山スポーツ振興課長 大規模スポーツ大会あるいは合宿等の支援という意味合いになるのかと思います。

この部分については既に施設の減免等の規定はありますが、新たにお迎えする大規模大会や合宿等についてのルールを整備してまいりたいと思います。

それから先程申し上げた情報の提供についてですが、ホームページのほかにエフエムワンというような媒体を活用しながら皆様に周知していきたいと思っております。

○石橋恕篤議長 よろしいですか。

○市川浜副議長 今の質問に関連いたしまして、確かに大きな大会を開催することによりまして、それなりの効果があるのですけども、それに伴いましてその大会運営をするスタッフ

が大変な事になると思います。

特に石鳥谷のソフトボールは大きな大会を何度も開催していますが、運営の協力を行うボランティアが沢山いるようですが、予算的な措置とかそういったものと併せて考えていかなければならないなと思いますが、それについてどのようにお考えでしょうか。

○玉山進スポーツ振興課長 大規模大会は二通りあると思っています。一つは以前から本市を会場にして行われている大会で、今お話があったようにソフトボールの東日本大会ですとか全国規模の大会等が頻繁に行われておりますが、ほとんどが県協会や日本ソフトボール協会等との連携の中で運営されております。

支援につきましては、全てのものではありませんが、大会開催補助金を設けながら、大会の開催に支援しております。大会を運営するボランティアの部分につきましては、各協会が実行委員会等を組み立てながら、あるいは地元の競技別協会と一緒に実施することになります。行政といたしましては、大会によっては補助金を交付する場合がありますので、それらを活用しながら大会を運営していただければと思います。

新たな大会等については、コンベンションビューローがいろいろな場面で支援を行うというイメージで考えております。

○石橋恕篤議長 ありがとうございます。伊藤委員から先程発言がありましたが、どうぞ。

○伊藤晴二委員 はい。それでは何点か質問したいと思います。一つは平成23年度の計画の中に生涯学習の基礎づくりという項目がないように見受けられました。私は生涯学習の基礎は学校教育だろうと思います。子どもの時からそういう目を開かせるというのは極めて大事だと思っているのですが、それがないので、構想があったらお話したいと思っています。

もう一つは、一般的な文部科学省が言うような学力ではなくて、花巻市ならではのものをどうやって子どもたちの、いわゆる芽を育てていく事が大事だと思います。その視点がないと、生涯学習で基礎づくりということはおかしいだろうと思っています。今日は小中学校の校長先生も来ておりますので、そういう意味ではこの場というのは学校教育の上で大事であると思っています。

さらに加えて、平泉がやっと念願がかなって、世界遺産に登録されました。同じ岩手県として単なる平泉だけではない、岩手の歴史が褒められているような気がするのですが、学校教育のほうではどのような計画があるのでしょうか。前は必ず遠足で行ったものですが、当然総合学習で取り上げられることも必要でしょうし、社会科の教科書にも載っております。

一つは基礎づくりの具体的な中身はどうか、それから今小中学校で郷土学習と言いますか、平泉学習も含めて今の状況はどうなっているのかを、お知らせ願いたいと思います。

○石橋恕篤議長 今のご質問でございますが、いかがでしょうか。

○佐藤正眞生涯学習課長 ご質問にあった基礎づくりという部分でございますが、4ページ下の施策の方向の生涯学習の基礎づくりをご覧ください。この事業の下の、例えば家庭教育の充実の支援、連携の支援という部分で事業がないのではないかというお話であったかと思えます。17ページをお開きいただきまして、就学養育課で取り組んでおりますが、家庭教育力向上事業と家庭教育講座が基礎づくりの部分になっていると思っております。

○伊藤晴二委員 就学前ではなくて、私は小学校と中学校に対してどのような市としての生涯学習の補助・指導を展開しているのかということですか。

○石橋恕篤議長 就学前の子どもに対する考え、対処ですね、それはどうですか。

○紺野佳子委員 併せてですが、先程のお話の中に小中学校課との繋がりのお話がありましたので、私はそこを連携しながら生涯学習を進めるのかなど。今の伊藤さんのお話と一緒にですが、5教科については小中学校課独自で考えて良いです。生涯学習の担当とのことであれば、生涯学習のことについてやってほしいです。

○佐藤正眞生涯学習課長 小中学校課とは、家庭教育講座は親の部分ですが、連携していません。その他には、例えば石鳥谷生涯学習会館におきまして、小中学校課・学校等と連携し、キャンプ等実施する中で連携しております。ゆくゆくは花巻市内の子どもたちを対象に生涯学習やリーダー研修的な事を行いたいと思います。

また、7ページの振興計画の中にありますが、小中学校課で行っている豊かな学び推進事業などが小中学生に対しての生涯学習の基礎づくりの部分であると思っております。

この中で例えば小中学校課の豊かな体験推進事業ですとか、7ページの振興計画の中で書いてありますと、そういった部分が生涯学習との基礎づくりという部分というか、小中学校に対しての生涯学習的な部分であると思っております。

○伊藤晴二委員 体験活動は文部科学省でもずっと言っているのですが、それぞれ独自でやっていると思いますが、私が言っているのは一般的なものではなく、花巻市として大事な、文化財も含めた遺産や花巻市の歴史です。それに目を向けていくのは、前に教育委員会が社会教育と一緒にあった時には良かったのですが、分離しているためにその連携がどうなっているのかという話で、私は何年か前から疑問に思っていたのです。私が現場にいた時はそういう話もしましたけども、中々取り上げてもらえませんでした。やはり子どもたちにそういう目を開かせたいとずっと思っていますので、一般的な体験学習ではなくて、花巻を知る、郷土の歴史を知る、平泉の歴史を知る、そういった仕組みや方向性のようなものが私は必要ではないかとずっと思っておりました。もし考えがなければ取り上げて検討していただきたいと思います。

○押切郁委員 今の話に関連しますが、先週の土曜日と日曜日の2日間アートセミナーで小学1年生から6年生までバスに乗って、成島で紙すきと、大迫でろくろを使って陶芸をしました。バスの中で子どもたちと話すのがとても楽しくて、子どもからいろんな社会や家庭生活が見えてきます。その話の中で、遠くに見える建物が、「あそこが新渡戸記念館だよ。新渡戸稲造さんが。」と言うのですけれども、「新渡戸稲造ってどこの人。」とか、全然子どもたちは分からない。宮沢賢治さんのことは知っているだろうと思い、「雨ニモマケズの中でよく見聞きして考えてと言っているように先生のお話を聞いてちゃんと見てやるのだよ。」と言いましたら、帰りのバスで「宮沢賢治って何した人、どこの人」と言われてハッとしました。私たちが知っているつもりで話しても実際は子どもたちは知らないこの町の歴史とか先人を教える副本は学校にはあるのでしょうか。あってもいいと思いますし、そういう学習もしなければならぬと、子どもたちとの会話から感じました。

もう一つですが、子どもたちを通して今の学校の先生方は大変だと感じました。私どもがアートセミナーの募集要綱を作ります。これには、親は送り迎えをしてくださいと書いてありますが、付き添いをしたいと言う親がいて断るのが大変です。先生方はずいぶん苦労しているのだろうと思いました。

子どもを通して見える家庭生活や社会は、実際問題として、とても考えさせられることが多くありました。

○石橋恕篤議長 ありがとうございます。今、伊藤委員、紺野委員、押切委員の3人の委員からお話がありましたけども、共通して、子どもたちに対する郷土あるいは偉人・先人に関する教育する機会というものは考えてもよろしいんじゃないかと意味合いのお話でしたので、今後の研究課題としてお考えいただけないかということでまとめさせていただいてよろしいですか。

○伊藤晴二委員 関連してですが、一つは、文化財関係です。これは子どもたちだけではなくて、成人に対しても必要なことだと思いますが、史跡についての説明板があまりにも少なすぎるのです。ここの向かいの旧講堂跡地ですが、私は実は大変重要な跡地だと思います。全く説明がないのです。おそらく、ほとんどの市民が何か知らないと思います。もし説明板があれば、そこには斉藤宗次郎の名前があって、「何だろうな、この人は」という疑問や関心や興味が湧いてくると思います。私はそういう意味で説明板はすごく大事なものだと思います。

学校教育だけではなくて、生涯学習課なのかどうか分かりませんが、そういう環境を整える、少なくともそういう重要な史跡には必ず説明板を建てるということは必要ではないでしょうか。

私は去年、文化財等の学習支援をまとめるという案が出たときには素晴らしいなと思いました。これこそが生涯学習を基礎から作っていくのだなと思っておりましたが、その計画がどうなっているのか触れていなかったもので、それも併せて学習資源ブックの作成と重要史跡の掲示板、市の文化財ではなくても私は必要だと思いますので是非これも検討をお願いしたいと思います。

○石橋恕篤議長 お願いしたいという要望ですけれども何かご意見があれば。

○佐藤正眞生涯学習課長 学習資源調査について、お答えしたいと思います。学習資源調査は8月から入る予定にしております。今年度いっぱい調査をいたしまして、例えば加除式のものや振興センターや最寄りの相談しやすい場所に備え付けるということを考えております。その他にホームページでの公開を考えております。

○石橋恕篤議長 小原委員、どうぞ。

○小原昭男委員 平泉の以前の歴史というのは、我々が在学した時には教わりませんでした。三内丸山遺跡などの昔の史跡から、生活文化なり歴史というものが顕彰されるようになってきたわけです。例えば平泉の関連として、そういったものを子どもたちに教える機会、楽しむ機会ができると思いますが、我々が過去において教わらなかったことから考えてどうなのでしょう。

○伊藤晴二委員 平泉の歴史は単なる金色堂・ミイラではありません。あれを生み出した文化財の価値、その背景・歴史を探るということはやはりきわめて大事です。私も中学校で教鞭を執っていたときは、平泉の歴史は蝦夷の歴史から始まるということで、前九年・後三年の役をとおして、清衡氏が登場する、いわゆる我々北方民族の誇りでもあるということです。平泉の価値は単なる文化財な価値だけではなくて、我々自身が生きてきた道を学ばせる事にもなる。そういった意味で私は誇りになる、「すごいな」というのではなくて、いわゆる自分

たちの先祖が戦い築いてきたその道を教えることになると思っております。

昔とは全く違う視点で、これは各学校に強制するものではなくて、その学校独自で判断してやるべきだと私は思います。そういったことを話題にすることが大事でもあるので、ここを出しました。最終的には各学校の判断だと思います。

○石橋恕篤議長 他に何かご意見はありますか。

○伊藤成子委員 私は婦人会から教育委員として来ておりますが、先程、伊藤委員のお話した花巻市独自としてのという形は、3ページの下の方の星印に書かれてあります「早池峰の風薫る」という言葉で始まった文章ですが、私はこれを読ませていただいた時に、これが花巻市独自のものだと思います。

そして去年の秋と今年の春にかけて、県の主催の花巻教育委員の講習会に参加させていただきまして、講師の先生のお話をお伺いしてきました。大迫に総合文化財センターができたので、先日、花巻市内の婦人会のリーダーの方たち50名近くと総合文化財センター、ワイン工場、森のガラス工房に行ってみ学してきました。

自分には娘や孫がおりますけども、子どもたちの夏休みの行事は、盛岡の娯楽施設に行つてその建物の中で体を動かして遊び、いろいろなものを食べて、わいわい楽しく帰ってきたという内容でした。自分たちがまず市内のいろいろな郷土史を知り、今度は自分の孫や娘たちに「新渡戸に行ってきたよ、新渡戸記念館もいいよ。」ということをお話しながら、伝えていくということが教育委員の務めかなということをして2回の研修会に行つて学ばせていただきました。今日ここでたくさんの皆さんの意見を聞かせていただいて、自分にとってもすごくいいことだったなと思います。

○石橋恕篤議長 伊藤委員からご感想をお話いただきました。我々自身が自分たちのルーツがどうなっているのかということは、場所・民族を問わず、関心があることだろうと思います。ですから花巻において、やはりそういう点は少しご研究いただきまして、市民の希望に応えることができるように、対応していただきたいというのが委員の望みだと思います。本当に各委員の皆さんにはまだまだお話ししたいこともあるかと思いますが、時間は大体の予定になりましたけども、最後にどうしてもお話ししたいというようなことはありませんか。

○紺野佳子委員 申し訳ございません。社会教育委員という役目をいただいておりますが、私としては役目を果たしているのだろうかといつも思っています。県の生涯学習センターでの研究会にも出席して、いろいろな方々からのお話を聞きながら社会教育委員というのはこういうことをやるのだよというのは聞いてはおりましたが、まだまだ私としては勉強不足なところがございます。社教連会報というのをいただきましたが、全国大会があるようです。いろいろな大会があつて勉強をする機会があるのだなと分かりました。全国大会は京都で開催ですが、遠くまで行くのは大変ですので、東北地方で開催されるものはあるのでしょうか。あれば参加して勉強したいという思いがあります。

○石橋恕篤議長 紺野委員の質問ですが、東北地方での開催はありますか。

○佐藤正眞生涯学習課長 東北地方での開催はありません。全国だけになります。

○石橋恕篤議長 全国大会の地方での開催はないのでしょうか。

○佐藤正眞生涯学習課長 持ち回りで開催するかと思います。

○紺野佳子委員 個人に申込書等というのは来るのでしょうか。

- 佐藤正真生涯学習課長 申込書等はまだ来ておりません。
- 紺野佳子委員 せっかく機会があるのでしたら、勉強してもいいと思いましたが、申込用紙が来ましたら、お願いします。
- 佐藤正真生涯学習課長 はい、ご連絡申し上げます。
- 石橋恕篤議長 他に。押切委員。
- 押切郁委員 11ページの芸術文化の振興の中の2行目に、芸術文化団体の事務局体制の整備という項目があります。私が会長になりまして5年目になりますが、ほとんど毎年芸文関係の行政の担当者が異動します。これでは、いくら有能な方でも実際に力を発揮できません。これが現実でございますので、この文章を本物にさせていただきたいという要望でございます。
- 石橋恕篤議長 ご要望いただきました。
- 予定された時間を大幅に超過してしまいましたけども、特にご発言がなければこれで終わりたいと思うのですが、よろしいでしょうか。
- (「なし。」の声あり。)
- 石橋恕篤議長 それでは、私の進行はこれで閉めさせていただきます。ありがとうございました。
- 佐藤正真生涯学習課長 ありがとうございました。委員の皆様、大変貴重なご意見・ご提言ありがとうございます。その他、皆様の方から何かありますでしょうか。
- (「なし。」の声あり。)
- 佐藤正真生涯学習課長 それでは、第1回社会教育委員会議これで閉じさせていただきます。ありがとうございました。

午前11:45分 閉会